



## 2.11 仮設・在宅被災者支援活動報告

2月11日に山元町・東田北仮設住宅と花釜地区での支援活動を行いました。

朝8時半、尼崎チーム（畑理事（元職員・看護師）、笹山さん・中野さん（健康づくり委員））と医学生チーム（神戸大学医学部4年生の4人と県連医学対・吉岡さん）とでホテルから一路、山元町・東田北（とうでんきた）仮設集会所へ。

県南医療生協・児玉常務とその娘さん、安藤常務が仙台空港から迎えにいった看護学生チーム（義村さん（元職員・看護師、尼崎市議会議員）、神戸県立大学看護学生3年生2名、1年生4名と仮設集会所で合流。午前中は3つに分かれて活動を展開。

①東田仮設での健康チェック、脳いきいき教室、②花釜・吉野さん宅での茶話会、③花釜・立谷さん宅での午後の物資支援準備と荷物移動。①は尼崎チーム+看護学生チームの一部、②は看護学生チームの一部+義村さん+県南医療生協の児玉・安藤両常務、③は医学生チームで対応。

### 笑顔があふれた「脳いきいき教室」

①では、ふれあいの四季とともに、コーヒーサービス、包丁とぎ、りんごの置きものづくりを平行して実施。午前中で30～40人ほどが会場に（うち健康チェックは32人）。畑理事の監督のもと、看護学生が血圧測定を行ったり、健康体操がとても好評。尼崎の脳いきいきインストラクターのとても上手な誘導に、会場の空気も一変し、みんなニコニコ。会場の空気をガラッと変えて、みんなが笑って楽しんでいる様子はとても印象的でした。



### 茶話会では・・・



②では、吉野さん宅近隣から10数人がいらっしやいました。自己紹介やいま困っていることなどを出すところでは、新聞の切抜きからパート従業員の被用者保険について聞いたり、確定申告で被災した場合どこまでなにか認められるのかなど、くらしと社会保障をめぐる問題で話がありました。参加した看護学生は当初何のことも解らなかったようですが、義村さんの「患者さんのくらしを想像できることが看護師にも求められる」に納得していました。

③では医学生の機敏な動きが立谷さん夫婦にとっても印象的に映ったようで、帰る際にはご夫婦から「20年は（元気で）がんばるから、（病気などしたら）そのときには私らも皆さんのお世話になると思います。またここに今度は遊びに来てほしい」とも。

### ボランティアさんが来たからこそ

お昼は、合戦原学堂で。各チームが集まりました。会場を準備していた椎谷区長と被災された住民の方がお味噌汁やお漬物を準備。椎谷区長があいさつをしてくださり、「みなさんのボランティアに感謝します。私は3月に後ろ髪引かれる思いで名取に引越しをしなければならないが、ここ



の地域の方は近畿の医療生協のボランティアにとっても感謝をしている。こうした会場も「近畿の医療生協のボランティア」と聞けば、すぐに喜んで受け入れる」と。



## 物資支給ではたくさんの方が！

午後は、医学生・看護学生は、安藤常務が山元・亘理の被災状況について現地視察へ。亘理の復興市場へいったりしたそうです。残った尼崎チーム、県南医療生協では、立谷さん宅で物資支給。2時開始だったのですが、1時半には開場に。並んで待っている人が20人以上いたとか。多くの物資支給には50～70名くらいの方が混乱もなく必要なものを持っていきました。みんなから「とても助かる」「こういうことがあってうれしい」と。会場にあった物資も多くは被災住民の方が持っていかけてい

きました。

3時になり店じまい。あまった物資を梱包し、ここで医学生チームは別行動に。彼らは新幹線で神戸に帰ることに。残った看護学生・尼崎チームは一路、しばた協同クリニックへ。

そこで県南医療生協元専務の渡辺さんが被災状況が甚大だった閉上地区へ仙台空港への帰路の途中で案内。船もまだ道路に残る中、ゆりあげにある10メートルほどの山に登り、「ここにも津波が来て、その松につかまって助かった人がいた」と小高い山の上にある松を説明。「ここで死んでたまるかとかがんばった人がなんとかギリギリでいのちをつないだ。しかし力尽きた人も多くいた。この地区では900人もの方が亡くなった」と。吹きさらしの冷たい強風の中で、これを耐えられたのかと思うほどでした。あたりは暗くなっても光がなく、とても暗く、人気がないところでした。

6時前に空港に。看護学生へ民医連・医療生協を語りながら夕食に。帰りの飛行機ではみなさん、疲れていましたが、得るものが多かった！と話をしていました。



## ～ぜひご参加を！3/10（土）、4/7（土）に

### 保健・医療・介護を中心とした支援活動～

スケジュールとしては、金曜夜に空路で仙台入り、土曜の午前・午後に支援活動、土曜夜には空路で大坂へ戻るもの（往復は飛行機利用）。当面の支援では、健康チェックや健康体操が中心となりますので、看護師、介護士、理学療法士等の専門職の4名程度を継続して送る予定です。組合員でこれらの資格をお持ちの方も含めて募集します。お問い合わせは組合員活動部、生協事務局へ。



## 宮城県角田市産・産直米の販売

今回の原発風評被害で放射能は検知されていないにもかかわらず出荷減少に。減農薬・有機栽培で精算されたおいしい宮城のお米（ひとめぼれ）です。3kg 1500円、5kg 2300円（カンパ代300円込）。今後も続くボランティア派遣募金として活用されます。詳しくは、組合員活動部（06-4962-4920）まで。